

特別起稿

大学図書館について考える～その2～

健康・スポーツ心理学科教授：出雲輝彦

2007年9月のカナダ研究調査中、トロント大学の図書館（Robarts Library）で資料検索をしていた時に遭遇した出来事についてです。…図書館内である集団が突然大声で叫び始めました。驚いて振り向くと、リーダーに引き連れられた20名前後の若者たちが、苦笑しながら大声で「ワーッ」と叫んでいたのです。…最初は、何が起きているのか理解できなかったのですが、一定の間隔をおいて何回もそういう“図書館の静寂を破壊するゲリラ的行為”に遭遇したことにより、これはひょっとしてトロント大学の新生生に対するキャンパス巡り（図書館案内）の伝統行事ではないかと考えるようになりました。…もし、そうだとすると、とてもユニークかつ大学の伝統を感じさせる粋な行事ではないでしょうか。本学にも新生生に対するユニークな図書館ツアーがあると良いですね。

<図書館なんでもFAQ> とっくんが皆からの疑問や質問に答えるよ...

新コーナー



Q. 読みたい本がすぐに見つけれたらいいな。

図書仕様の分類で開架されているので、関連する図書が探しにくいです。可能であれば、臨床心理、犯罪心理、基礎心理、大学院対策本等にまとめてもらえると使いやすと思います。

A. 図書館の資料は、全ての利用者に平等な環境を！との考えから分類記号に「0」から「9」のアラビア数字のみを用いて、大まかな分類から細かい分類へと順次10ずつの項目に細分していく「日本十進分類法」という規則に基づいて分類・配列を行っているんだ。利用頻度の高い分野は書棚にサイン表示を追加する等、引き続き検討していくね。

★本のことでわからないことや、要望があったら、遠慮しないで図書館スタッフ（司書さん）に相談してね。

By とっくん

